

川上大栄第2地区土地改良事業計画概要書

1 目的	本地区は、斜里町西部に位置する斜里川流域の低平地であり、土壌は黒ボク土及び泥炭土が広く分布している。効率的な生産体制の確立を目指し、営農集団の大型機械の導入や共同利用を進めているが、排水不良農地が点在する状況にあり、大型機械の作業効率を高めるうえで支障を来している。これらの状況から、農作物の収量の低下等の要因を解消し、地区が目指す輪作体系の確立や、地域が将来にあふ農地周生を推進するため、生産性の高い基盤整備を行い、効率的な土地利用と経営合理化による中核担い手農家の育成を図る。										
	2 地域の所在及び現況	(1) 地域の所在		北海道斜里郡斜里町							
		(2) 地域の現況									
		ア 地形	平坦及び緩傾斜地								
		イ 土質	非固結性火成岩								
	ウ 土壌	グライ低地土、灰色低地土									
	エ 気象		平均気温		5.9 °C		かんがい期平均気温		15.1 °C		
			平均降水量		752.1 mm		最深積雪深		- cm		
			根雪期間		-		無霜期間		-		
	オ 水利状況	排水は普通河川を通じて滞沸湖に自然流下している。									
	カ 営農状況	畑作3品を中心にしたまねぎ、にんじん等を併せた畑作野菜複合営農が行われている地域である。									
	キ 地域環境の概況	丘陵地帯にはカラマツ、トドマツなどの針葉樹が大規模に植林されている									
	(3) 地積及び受益戸数										
			地目		田	畑	山林	原野	その他	計	受益戸数
					(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(戸)
区分	現況								453.6	45	
	計画								453.6		
区画整理	現況								453.6	45	
	計画								453.6		
全体	現況								453.6	45	
	計画								453.6		
3 基本計画	(1) 事業計画内容 土地の生産効率向上のため、区画整理を実施し、地域農業の活性化を図る。										
	(2) 環境との調和への配慮 工事における使用機械は、排ガス対策及び必要に応じて低振動・低騒音型機種を使用し周辺農家及び生物の環境に配慮する。										
4 工事又は管理の要領	主 要 工 事 計 画	事業種	受益面積			事業量及び事業内容					
		区画整理	453.6ha			整地453.6ha、暗渠排水213.9ha、補助暗渠43.1ha、心土破砕122.3ha 客土24.2ha、土壌改良108.7ha					
	造成又は改良される施設の管理方法等	施設名	管理団体名			管理方法					
		-		-			-				
5 換地計画の要領	(1) 換地計画樹立の必要性										
	(2) 換地計画樹立の基本方針 ア 従前の土地の地積の基準										
	イ 農用地集団の方法										
	換地区	地帯別	ダグループ		個人別換地の方法						
		別団地の設定		位置選択		1戸当たりの目標団地数		区画畦畔の取り扱い			

5 換地計画の要領	ウ 非農用地の換地方針							
	換地区	種類	非農用地区域の位置の概略	面積	換地の手法	換地取得予定者	その他	
					ha			
	エ 清算の方法							
6 費用の概算	(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積							
	換地区		機能交換に係る土地				一般公有地	合計
		国有地	道有地	市町村有地	計	ha	ha	
		ha	ha	ha	ha	ha	ha	
(4) 換地処分の時期に関する特別								
7 効用	区画整理	(1) 事業の効用 区画整理の実施により、生産性及び作業性が向上し農業経営の改善、安定を図ることが出来る。また、総費用総便益比についても、1.73と1.00以上となっている。					工期 令和8年度 ～ 令和16年度	
		(2) 事業効果額 効果項目 効果額(千円)						
		163,949		29,884				
(3) 事業負担の見通し 総所得償還率が19.2%で20%以下であるため負担については問題ない。								
8 事業との関係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法 該当無し						9 計画概要図 別図のとおり	
	(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法 該当無し						10 その他	